

令和5年度 第2回施設長会 会議資料
(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

— 議 題 —

- 1 役員の選任及び各プロジェクト委員の報告について …資料10-1
- 2 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料10-2
 - (1) 災害プロジェクト委員会について
 - (2) 人材プロジェクト委員会について
- 3 施設長会情報交換テーマについて …資料10-3
- 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について …資料10-4
- 5 その他 …資料10-5

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期について

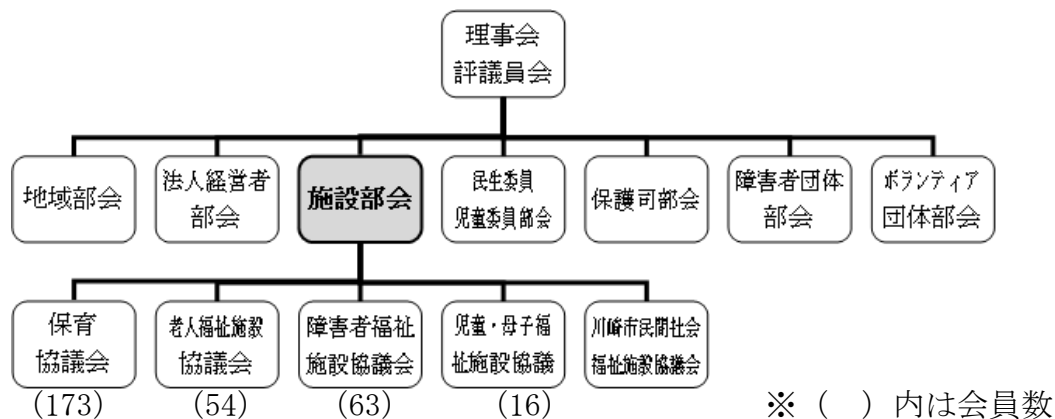
1 内容

川崎市社協の各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期については、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会部会規程第3条第4項により、2年となっております。

ただし、平成29年4月改正社会福祉法の施行もあり、各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期と市社協理事の改選年度が異なっておりました。

つきましては、施設部会を含め7つの部会の任期を本会理事の改選年度と揃えるため、令和4年度の役員改選における任期に限り、2年から1年に短縮することとする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 組織図



（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 部会規程（抜粋）
（正副部会長）

第3条 各部会に部会長1名、副部会長2名以内をおく。

2 部会長は会務を統括し、副部会長は、部会長に事故あるとき代行する。

3 正副部会長の選任は、各部会において互選とする。

4 正副部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠により就任した場合は、前任者の残任期間とする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 理事等の任期について

種類／年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
理事		←→	←→	←→	←→
各部会正副部会長 （各協議会正副会長）	←→	←→	←→	←→	←→

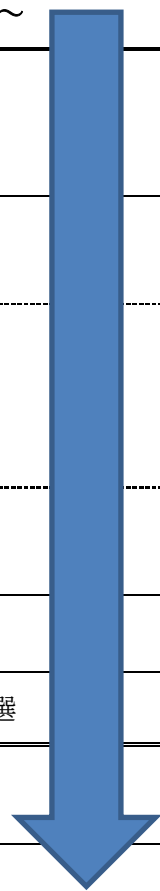
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
役員改選等のスケジュールについて

令和4年度

	会議	役員改選	委員改選（災害P・人材P）
12月	施設長会 (12/21 (水))		委員募集方法の確認
			委員の募集案内 《募集期間》 12/26 (月) から 1/20 (金) まで
1月			募集状況を各施設へ報告 (1/31 (火))
2月	施設長会 (2/15 (水))	会長選任方法の確認	新委員の報告 ※新委員の任期は 4/1～
		会長立候補者の募集案内 《立候補期間》 2/20 (月) から 3/3 (金) まで	
3月		立候補状況を各施設へ報告 (3/8 (水))	
		会長候補者の推薦依頼 ※立候補者がいない場合 《推薦期間》 3/13 (月) から 3/24 (金) まで	
		推薦状況を各施設へ報告 (3/29 (水))	

令和5年度

	会議	役員改選	委員改選
4月	正副会長等会議 (4/6 (木)) ※現行役員		
	施設長会 (4/19 (水))	会長の選任	新委員の報告 ※新委員の任期は 4/1～
5月		新役員体制状況を各施設へ報告 (5/31 (水))	
6月	正副会長等会議 (6/) ※新役員候補者		
	施設長会 (6/21 (水))	副会長等の選任	



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会運営要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、川崎市社会福祉協議会施設部会運営要綱に基づき設置される川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下「本協議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(構 成)

第2条 本協議会は社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会員である老人福祉施設で構成する。

(役 員)

第3条 本協議会の円滑な運営を図るため、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長は会務を統括し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

(役員を選任)

第4条 会長の選任については、あらかじめ立候補期間を設け、立候補者の中から、施設長会において選任する。選任の方法については、施設長会においてその都度協議のうえ定める。

2 立候補がなかった場合は、施設長会において互選により選任する。

3 副会長は、会長が候補者を選出し、施設長会において選任する。

(会 議)

第5条 本協議会会長は必要に応じ別表に定める会議を招集し、その議長となる。ただし、施設長会の議長は、その都度選任する。

(委員会の設置)

第6条 本協議会は必要に応じ委員会を設置することができる。

(その他)

第7条 この要領を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

2 この要領に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、施設長会で協議のうえ定める。

附 則

この要領は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この改定要領は平成24年11月1日から施行する。

附 則

この改定要領は令和2年4月1日から施行する。

(別 表)

会議名	構成
施設長会（総会含む）	本協議会会員施設の施設長
正副会長会議	正副会長

川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 役員等の選任について

①老人福祉施設協議会正副会長

任期：令和５・６年度（２ヵ年）

（敬称略）

役職	新	前
老人福祉施設協議会 会長	清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (夢見ヶ崎)
老人福祉施設協議会 副会長	白井 裕一 (富士見プラザ)	白井 裕一 (富士見プラザ)
老人福祉施設協議会 副会長	平山 みちる (すえなが)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)

◎川崎市社会福祉協議会施設部会に委員として参加

◎会長が川崎市社会福祉協議会理事、副会長１名が川崎市社会福祉協議会評議員

②神奈川県社協老人福祉施設協議会委員

任期：令和５・６年度（２ヵ年）

（敬称略）

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (すみよし)
白井 裕一 (富士見プラザ)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)
平山 みちる (すえなが)	白井 裕一 (富士見プラザ)
田邊 亜佳音 (片平長寿の里)	牧田 正之 (多摩川の里)
関口 英志 (おだかの郷)	平山 みちる (鷺ヶ峰)

◎川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会正副会長等会議に参加

③神奈川県社協老人福祉施設協議会課題別部会委員

任期：令和５・６年度（２ヵ年）

（敬称略）

課題別部会	新	現
施設運営 に関する部会	白井 裕一 (富士見プラザ)	白井 裕一 (富士見プラザ)
	関口 英志 (おだかの郷)	関口 英志 (おだかの郷)
人材確保等 に関する部会	小林 秀夫 (新緑の郷)	古敷谷 耕平 (大師の里)
	岩壁 信行 (等々力)	岩壁 信行 (等々力)

プロジェクト	新	現
災害対応 に関する部会	山口 皓史 (生田まほろば)	平本 正志 (すえなが)
	稲垣 仁久 (わらく桃の丘)	牧田 正之 (多摩川の里)
		見原 啓一 (ビオラ川崎)

※災害対応に関する部会委員は3名から2名に減少。

④関東ブロック老人福祉施設連絡協議会の川崎市代表

任期：令和4・5年度（2ヵ年）

(敬称略)

現	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	磯野 利男 (すみよし)

⑤首都圏高齢者福祉協議会の川崎市代表

任期：単年度 ※第1回の会議において、正副会長選任

(敬称略)

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	清水 完敏 (夢見ヶ崎)

⑥川崎市社協ボランティア活動振興センター運営委員

任期：令和4・5年度（2ヵ年）

(敬称略)

現	前
清水 完敏 (老人福祉施設協議会／夢見ヶ崎)	白戸 隆 (児童・母子福祉施設協議会／川崎愛児園)

※施設部会各協議会にて輪番制

⑦川崎市福祉人材バンク運営委員

任期：令和4・5年度（2ヵ年） 残任期間

(敬称略)

新	前
清水 完敏 (夢見ヶ崎)	古敷谷 耕平 (大師の里)

⑧川崎市高齢者災害時避難計画等検討会委員

任期：単年度 ※令和5年度から新設

新
清水 完敏 (夢見ヶ崎)

参考：川崎市社会福祉協議会 今後の予定について

評議員会：6月29日（木）10時～ てくのかわさき ※新副会長

理事会：6月30日（金）10時～ 総合自治会館 ※清水会長

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) 第1回災害プロジェクト委員会 / 5月23日(火) 15時～16時30分

※第1回防災班長会議と合同開催

≪協議概要≫

①正副委員長の選出について(令和5・6年度)

役職	新	旧
委員長	山口 皓史 (生田まほろば)	平本 正志 (すえなが)
副委員長	稲垣 仁久 (わらく桃の丘)	牧田 正之 (片平長寿の里)

②県老協災害対応に関する部会委員の選出について(令和5・6年度)

新	旧
山口 皓史 (生田まほろば)	平本 正志 (すえなが)
稲垣 仁久 (わらく桃の丘)	牧田 正之 (片平長寿の里)
	見原 啓一 (ビオラ川崎)

③令和5年度川崎市総合防災訓練へのご協力について(危機管理担当より)

日 時：令和5年9月3日(日) 9時～12時

場 所：多摩区南菅中学校(メイン会場)、菅多目的広場

主な訓練：令和4年度同様に二次避難所移送訓練、避難所医療訓練、DMATを交えた救出救護訓練を予定

訓練概要：二次避難所を立ち上げ受入れ可能な連絡をE-Welfissで実施し、民間救急を活用して、二次避難所となる当該施設へ配慮が必要な方を移送、当該施設での受入れを実施

依頼事項：多摩区内の事業所(1か所)に上記訓練の協力をお願いしたい

⇒生田まほろばが協力

④災害プロジェクト委員会での今後の取り組みについて

○災害に関する研修会等の開催について

- ・ BCP 策定状況の調査、必要に応じてフォローアップ研修会を開催する。
- ・ 市内の施設間連携を進めていくため他都市の取組み等を聞き、災害時に同じ地域の施設間で協力できることを再考する契機となる研修会の開催や情報提供を行う。

(案 1) 講 師：横浜市内特別養護老人ホーム

テーマ：BCP 策定及び訓練について

※H 2 8 年度に BCP の策定の際にお話をいただいた横浜市内の施設に、改めて BCP の策定と BCP を用いた訓練についてお話を伺う。

(案 2) 講 師：広島さっそくネット（広島県老人福祉施設連盟）

テーマ：相互支援のための顔の見える関係づくりについて

※被災した場合も施設・事業所の利用者の生活を維持するために、日頃からきちんと SOS が発信できる、支え合える相互支援体制の構築について

⇒E-Welfiss と絡めて相互支援の研修を開催し、訓練に繋いでいく

BCP に基づいた実際の訓練の見学

BCM に向けての研修

市民トリアージ等

→事務局で再度内容を検討し、次回の委員会に提出

○施設間連携及び情報共有について（川崎市内施設での施設間連携）

- ・「非常災害時の相互の応援に関する規約」や「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）」を運用し、実効性のある施設間連携を推進する。
- ・川崎市内の施設間連携及び情報共有をより一層進めていくため、他都市との情報交換や意見交換を実施する。

【候補】①横浜市社協高齢福祉部会災害プロジェクト委員会 ※H30 視察（システム等）

②板橋区社会福祉法人等連絡会 ※R4 研修会講師

③その他

⇒E-Welfiss を先駆的に活用している横浜市の見学

まずは区内で顔の見える関係を作ってから他都市との情報交換になるのでは？

世田谷区や町田市、調布市等が隣接エリアになるので、板橋区のような遠方よりも近隣他都市との連携を図りたい

環境的に似ている他都市と情報交換をしたい

○各施設・各区単位での災害時シミュレーション訓練の検討及び実施

- ・令和元年度に実施した福祉施設初動訓練、二次避難所開設訓練、令和 3 年度に作成した「災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）」、令和 4 年度に実施した「合同訓練（災害時物資移送訓練）」を参考に、各施設・近隣施設（区単位）で取り組めるシナリオ等の検討及び訓練を実施する。

- ・川崎市の情報共有システムを活用し、近隣施設（区単位やエリア単位）等との情報伝達訓練を定期的実施し、災害を想定した実効性のある施設間連携を推進する。

（具体的取組）

- ・川崎市総合防災訓練への参加協力
- ・災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）を活用した情報伝達訓練及び物資移送訓練等について

⇒E-Welfiss を操作したことのない職員が多数であるため、操作に慣れるためにも定例で毎月訓練を実施した方が良いと思うが、開催頻度はアンケートをとって決める

2 か月に 1 回、防災無線と E-Welfiss の訓練を一緒に実施

年度初めに 1 度という意見と、2 か月に 1 回でも定期的にという意見両方があった
行政職員にも参加してほしい

○各班における取組のイメージ

令和 5 年 7 月下旬	（市主催）情報伝達訓練
同 日	訓練終了後班会議をリモート開催
班会議終了後	各班における訓練の内容（日時・場所等）が決まり次第事務局に報告
令和 5 年 8 月～10 月	（各班）情報伝達訓練・物資移送訓練等を実施
訓練終了後	各班における訓練の結果を事務局に報告
⇒ 防災班長会議・施設長会等で共有	
令和 5 年 11 月頃	（市主催）情報伝達訓練
同 日	訓練終了後班会議をリモート開催
班会議終了後	各班における訓練の内容（日時・場所等）が決まり次第事務局に報告
令和 5 年 12 月～3 月	（各班）情報伝達訓練・物資移送訓練等を実施
訓練終了後	各班における訓練の結果を事務局に報告
⇒ 防災班長会議・施設長会等で共有	

※災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）操作動画※

「情報伝達訓練の前に知っておきたい E-Welfiss の使い方」

<https://youtu.be/tC3650HGiY8>



（2）今後の予定

第 2 回災害プロジェクト委員会 / 7 月 24 日（月）10 時～

2 人材プロジェクト委員会

(1) 第1回人材プロジェクト委員会 / 5月17日(水) 14時～16時

≪協議概要≫

①正副委員長の選出について(令和5・6年度)

役職	新	旧
委員長	小林 秀夫 (新緑の郷)	古敷谷 耕平 (大師の里)
副委員長	岩壁 信行 (等々力)	岩壁 信行 (等々力)
副委員長	平山 みちる (すえなが)	平山 みちる (鷺ヶ峰)

②県老協人材確保等に関する部会委員の選出について(令和5・6年度)

新	旧
小林 秀夫 (新緑の郷)	古敷谷 耕平 (大師の里)
岩壁 信行 (等々力)	岩壁 信行 (等々力)

③ハローワーク主催「福祉の仕事」説明会について

【全体】

○これまでどおりハイブリッド開催とするが、

ハローワーク南をホスト会場に、もう一方の会場(パル・エポック)は視聴のみとする

【講話1】『施設でのケアの実際』

○講話1については動画にする

●動画にするとして、①どなたに話していただくか、②どのような内容にするかについては検討が必要。

⇒6/12の正副委員長打合せで検討。

未経験・無資格の方(自分にも福祉の仕事ができるかな?と考えている方)が対象となるので、施設での1日の仕事の流れや内容をもう少し盛り込んでもいいかもしれない。

内容を吟味して原稿を作ってから動画作成になるため、しばらくはプロジェクト委員が話することになる。

7月の「福祉の仕事」説明会での講話①は神田委員に依頼。

【講話 2】『福祉の現場からの声』

- 講話 2 の内容はこれまでどおりとするが、協力施設の参加方法をオンラインのみとする。
- 質問内容はこれまでどおりとし、話の流れで別の質問をしても良い。

●協力施設

⇒1 回あたり 2 ～ 4 施設として、多くなった場合には次回にお願いする。

※課題になっていたとおり、協力施設が少ない or いなかった場合には人材プロジェクト委員の皆様に近隣施設や同じ法人等への声掛けをお願いします。

協力施設にお願いする時間は

12 : 45～13 : 00 ログイン（カメラ音声チェック）、

13 : 00～13 : 55 ログアウトはせず、ビデオをオフにして仕事をしても良い。

13 : 55～14 : 00 ビデオをオンにして講話②に備える。

14 : 00～14 : 30 講話②（福祉の現場からの声）※終了後、退出

●司会

人材プロジェクト委員会委員が司会を行う。

⇒7 月は小林委員長が司会を担当。

【その他】

●リハーサル

※新しい会場を毎回使用することになるため、開催日とは別に本番と同じ状況でのリハーサルを行う。（オンライン環境確認、当日レイアウト確認）

【令和 5 年度年間予定表】

日程	委員（南）	委員（北）
5/19（金）	大師の里 古敷谷施設長 ※ハローワーク川崎	新緑の郷 小林施設長 ※福祉パルなかはら
7/14（金）	新緑の郷 小林施設長 ※ハローワーク川崎	生田広場 神田施設長 ※福祉パルたかつ
9/15（金）	すみよし 和田施設長 ※ハローワーク川崎	すえなが 平山施設長 エポックなかはら
11/8（水）	しおん 伊藤施設長 ※ハローワーク川崎	すえなが 平山施設長 ※福祉パルみやまえ
1/19（金）	等々力 岩壁施設長 ※ハローワーク川崎	多摩川の里 茶園施設長 ※福祉パルたま
3/8（金）	新緑の郷 小林施設長 ※ハローワーク川崎	金井原苑 吉野施設長 ※福祉パルあさお

※当日は各会場に 1 1 時に集合し、会場設営等を行う。

④介護人材の育成・定着に関するアンケートについて

アンケートは今年度中の実施が目標であるため質問内容を再検討する。

⑤人材プロジェクト委員会の今後の取り組みについて

重点取組として、①人材発掘、②人材確保、③人材育成・定着の3本柱があるが、互いに関連性があり総合的に取り組んでいく必要がある。これまでどおり3つのワーキンググループに分かれて取り組むのが良いと考えるが、それぞれの重点取組の中の項目が細分化されているため、力が分散してしまう状況がある。正副委員長で各項目や今後の方向性を話し合い、第2回目の委員会で提案する。

⇒6月12日の正副委員長打合せで検討。

3本柱については継続。

①人材発掘については、小中学生・高校生・大学生に向けた取組み、地域の福祉人材発掘に向けた取組み、ハローワーク等との連携・協力の取組みで変更なし。ハローワークの福祉の仕事説明会のアンケート結果を分析し、より効果的な実施方法を検討していく。

②人材確保については、行政と連携しつつ、外国人介護人材や多種多様な働き方（シニア層等）、他都市での取組み等について情報収集・情報提供していくので良いと思われる。

③人材育成については、人材育成・定着に関する研修（一般企業の方を講師に招くこともできるかもしれない）、ICTの活用事例等（かながわ高齢者福祉研究大会での研究発表を参考にできる）に関する研修を検討・企画・実施していきたい。

（2）ハローワーク「福祉の仕事」説明会

日 時：5月19日（金）13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎

②福祉パルなかはら

参加法人：馬島福祉会、緑成会、よつば会

参加者：①説明会17名（就職相談会8名）

②説明会23名（就職相談会8名）

(1) 川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について、福祉の仕事・資格の案内
市内社会福祉施設の求人情報の提供

(2) 施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 神田施設長

(3) 福祉の現場からの声 ※施設

司会：人材プロジェクト委員会 古敷谷施設長

【ハローワーク川崎会場】



【福祉パルなかはら会場】



(3) 今後の予定

第2回人材プロジェクト委員会 / 7月19日(水) 14時～

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

（1）会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

（2）正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

（3）施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 スケジュール

今後のスケジュール（施設長会と同日だった場合の予定）

令和 5 年	6 月	■施設長会（ 6/21 ） ※情報交換を実施（2 回目）
	7 月	□情報交換テーマの募集（7 月中旬頃）
	8 月	■施設長会（ 8/23 ） ※情報交換を実施（3 回目）
	9 月	□情報交換テーマの募集（9 月中旬頃）
	10 月	■施設長会（10/18） ※情報交換を実施（4 回目）
	11 月	□情報交換テーマの募集（11 月中旬頃）
	12 月	■施設長会（12/20） ※情報交換を実施（5 回目）
6 年	1 月	□情報交換テーマの募集（ 1 月中旬頃）
	2 月	■施設長会（ 2/21 ） ※情報交換を実施（6 回目）

3 令和 5 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「新型コロナウイルス 5 類移行に伴う対応の変化について」

内 容：①面会方法について

②感染対策の変化等について（換気の頻度が減った、変わらない等）

令和4年度

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、 問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

令和5年度

4月19日	災害について（各区の班長・副長について他）
-------	-----------------------

【アンケート】

○次回以降の施設長会の情報交換で取り上げたいテーマがございましたら、希望されるテーマ及び理由、施設での現状等をご記入ください。（情報交換会の形式など）

- ・上記本日のテーマについての続編というわけではないのですが、日常の“メレメレス”についても、何か工夫があれば知りたいところでした。（施設長会ではなくてもよいのですが）
- ・“新型コロナ対策”緩和に向けて、面会等の対応の考え方を共有したいです。
- ・最低賃金の上昇に伴う、パート職員の時給設定について
- ・グループ分けについて、当日その場で知らされるのではなく、議題や資料をメール送信される際に、グループメンバーが分かるようにして欲しい。進行役もあらかじめ指名するのがスムーズに運ぶと思う。

【過去のアンケート結果等でのテーマ】

- ・外国人介護人材について
- ・財源の担保に関わるテーマ（扱いが一筋縄では行かないので、情報交換には適さないのであれば、何のテーマでも結構です）
- ・B C P計画の策定と具体的な運用について
- ・大規模修繕や備品の更新などについての補助金の使い方について、情報交換かレクチャーを受けたい。
- ・補助金を活用している施設の話
- ・経費削減についての取り組み状況、アイデアがあれば知りたい。
- ・補助金の活用 設備の更新など

令和5年度 神奈川県社会福祉施設協議会施設部会老人福祉施設協議会
第1回委員会

日 時：令和5年5月29日（月）14時～15時30分
会 場：神奈川県社会福祉センター 6階 601・602会議室

挨拶：西山会長

議事進行：西山会長

■議題

- 1 委員の選任状況について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
⇒ 川崎市が改選に伴い、委員2名が新たに選出
6月の総会後から新体制
- 2 正副会長の選任について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
4／25の正副会長等会議にて令和5・6年度も現行の体制でいく方針が示された
⇒ 反対意見なし、6月の総会で承認を得ることとなった
⇒ 今後の役員選出方法については4県市の会長が共通認識を持った上で見直していく
- 3 令和4年度事業報告並びに収支決算（案）について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明 ※省略
- 4 令和5年度補正予算（案）について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明 ※省略
- 5 神奈川県高校生福祉研究発表会への優勝旗の寄贈について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
これまでの①ベッドメイキング部門、②介護技術部門に加えて、今大会から③研究発表部門が新設された
①②に関しては県老協協名義で優勝旗を寄贈しているため、今回新設された③についても優勝旗を寄贈したいと考えている
優勝旗寄贈の承認が得られたら7月22日の研究発表会当日に会長から渡す予定
⇒ 反対意見なく、承認
⇒ 福祉系の高校は県内に4校しかない
学校からの要望・学校への要望等、先生と意見交換する機会を持てたら良い
- 6 課題別部会について
→ 県社協より別紙資料に基づき説明
施設運営に関する部会は阿部副会長が、人材確保等に関する部会は清水副会長が、災害対応に関する部会は前田副会長が担当副会長となる
総会終了後に4県市の事務局に委員選出依頼をかける
取組内容は各部会で検討してもらうが、ブロックごとの課題を共有・検討してもらいたい
⇒ 篠原顧問より、次年度の政策提言を視野に入れて各部会ごとにまとめてもらいたい

7 第21回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について

→ 県社協より申込状況・進捗状況について説明

※5/29現在

参加申込	585名 ※うち、川崎は85名	〆切6/15
施設紹介	50施設 ※うち、川崎は6施設	〆切5/26 (60施設まで対応可能なため 事務局と個別相談で対応可能)
協賛企業	45社	〆切5/26 (Bエリアブースに余裕がある ため事務局と個別相談で対応可能)

※6/19現在

参加申込 950名(うち、川崎は120名) 申込〆切6/23まで延長

施設紹介 52施設(うち、川崎は6施設)

協賛企業 46社

8 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて

→ 県社協より、別紙資料に基づき説明

現場の人材不足もあり職員の参加要請も難しくなっていること、会場費の負担も大きいことから、どのような開催方法にするのか、どのような内容のものにするのか、一度休止してよく考えた方が良い時期に来ている

(案1) 第22回大会の準備を行いつつ、並行して今後の検討を行う方法

(案2) 第22回大会の準備は行わず、今後の検討を行う方法

以上2案を提示

⇒準備を進めながら検討も行うというのは困難であるため、案2が現実的

検討委員会を立ち上げて、加藤副会長に委員長を担ってもらう

6/15の第21回大会実行委員会で開催方法等の見直しを図ることを報告する

今後は総会や研修会など、参加人数が多く見込まれる会議の場合には、
崎陽軒を利用することが多くなると思う。

9 その他

物価高騰に係る助成金について4県市で情報共有

**社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 委員名簿**

(任期：令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

◎：会長 ○：副会長

No.	委員氏名等	種 別	施 設 名	選 出 母 体
1	○ 加藤 馨	特養	陽光の園	神奈川県 高齢者福祉施設協議会
2	森 弘樹	特養	ヒューマン	
3	井上 政江	特養	はまゆう	
4	川瀬 和一	特養	藤沢養護老人ホーム	
5	小泉 昇	特養	ル・リアンふかみ	
6	◎ 西山 宏二郎	特養	弥生苑	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会
7	○ 前田 卓哉	特養	たきがしら芭蕉苑	
8	牧野 裕子	特養	第2新横浜 パークサイドホーム	
9	晝間 靖裕	特養	やまゆりホーム	
10	紺野 智秋	特養	泉の郷	
11	○ 清水 完敏	特養	夢見ヶ崎	川崎市社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
12	藤田 茂樹	特養	潮見台みどりの丘	
13	白井 裕一	特養	富士見プラザ	
14	牧田 正之	特養	多摩川の里	
15	平山 みちる	特養	鷲ヶ峰	
16	○ 阿部 匡秀	特養	東林間シニアクラブ	相模原市社会福祉協議会 高齢者福祉施設部会
17	大塚 小百合	特養	ケアプラザさがみはら	
18	常盤 拓司	特養	相陽台ホーム	
19	佐々木 美保	特養	塩田ホーム	
20	横井 顕	短期入所	ずっと我が家上溝本町	
21	篠原 正治	特養	上郷苑	顧問相談役（県社協会長）

※各選出母体の一番目の委員が当該選出母体団体の代表者

**社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 委員推薦者名簿**

(任期：令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

◎：会長 ○：副会長

No.	委員氏名等	種 別	施 設 名	選 出 母 体
1	加藤 馨	特養	陽光の園	神奈川県 高齢者福祉施設協議会
2	森 弘樹	特養	ヒューマン	
3	井上 政江	特養	はまゆう	
4	川瀬 和一	特養	藤沢養護老人ホーム	
5	小泉 昇	特養	ル・リアンふかみ	
6	西山 宏二郎	特養	弥生苑	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会
7	前田 卓哉	特養	たきがしら芭蕉苑	
8	牧野 裕子	特養	第2新横浜 パークサイドホーム	
9	晝間 靖裕	特養	やまゆりホーム	
10	紺野 智秋	特養	泉の郷	
11	清水 完敏	特養	夢見ヶ崎	川崎市社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
12	白井 裕一	特養	富士見プラザ	
13	平山 みちる	特養	すえなが	
14	関口 英志	特養	おだかの郷	
15	田邊 亜佳音	特養	片平長寿の里	
16	阿部 匡秀	特養	東林間シニアクラブ	相模原市社会福祉協議会 高齢者福祉施設部会
17	大塚 小百合	特養	ケアプラザさがみはら	
18	常盤 拓司	特養	相陽台ホーム	
19	佐々木 美保	特養	塩田ホーム	
20	横井 顕	短期入所	ずっと我が家上溝本町	
21	篠原 正治	特養	上郷苑	顧問相談役（県社協会長）

※各選出母体の一番目の委員が当該選出母体団体の代表者

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会委員の任期満了に伴う委員改選について

(県域) 神奈川県高齢者 福祉施設協議会	(横浜) 横浜市社協 高齢福祉部	(川崎) 川崎市社協 老人福祉施設協議会	(相模原) 相模原市社協 高齢者福祉施設部会
----------------------------	------------------------	----------------------------	------------------------------

令和4年度内に、各団体にて県社協会員の次期委員候補者5名を選出の上、
県社協事務局へ推薦書を提出いただく。

なお、推薦団体の事情により、年度内に提出できない場合、状況が整い次第推薦書を提出する。
第1回総会での承認後に新体制へと移るため、令和5年度第1回総会までは現委員での体制とする。

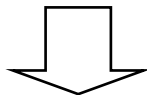
令和5年度役員改選は令和5年6月とする。



令和5年6月上旬目途 正副会長候補者の決定

〈参考〉令和2・3・4年度正副会長（令和4年度推薦団体改選に伴い、正副会長を再選出） ※敬称略

	令和2年度—令和4年度	令和5年度・令和6年度
協議会会長（1名）	西山 宏二郎（横浜）	
協議会副会長（4名） ※各団体から1名	加藤 馨（県域）	
	前田 卓哉（横浜）	
	清水 完敏（川崎）	
	阿部 匡秀（相模原）	



令和5年度 第1回総会（6月）承認後、決定

以降、各団体の委員改選等による変更等が生じた場合には適宜変更の承認を委員会を得る。

令和5年度 神奈川県高校生福祉研究発表会実施要綱

- 1 目 的 神奈川県の高等学校で福祉を学ぶ生徒たちの知識と技術を発表する機会をつくり、各校の生徒が学習してきた内容を基礎とし、さまざまな視点から1人の利用者様に向き合い支援していく過程や方法を考えていく。この大会では、生徒同士の交流（学びの場）を大切にし、意見交換や協議を通して、課題解決に関する知識と技術を身につけていくことを目的とする。
- 2 主 催 神奈川県高校生福祉研究発表会実行委員会
（事務局：神奈川県立二俣川看護福祉高等学校）
神奈川県高等学校教科研究会福祉部会
- 3 協 力 神奈川県介護福祉士会等
- 4 日 時 令和5年7月22日（土）10時00分から15時30分（予定）
- 5 会 場 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校
- 6 審 査 員 現在、調整中
- 7 出 場 資 格 神奈川県高等学校で福祉を学ぶ生徒
- 8 大会概要 ①ベッドメイキング部門：2人で行うベッドメイキングを発表
②介護技術部門：事例及び課題に応じて行う介護技術を発表
③研究発表部門：事例を元に情報収集や研究を行った成果を発表
以上の3部門で構成される。
出場は、①から③のうち1つ以上を選んでエントリーする。
（1部門での出場も可）
※②、③について最優秀賞をとった学校は後日行われる、関東地区大会に出場する。
- 9 今後の日程 5月30日（火） 出場の可否確認締切
6月 事例課題の配布
6月30日（金） 出場生徒名等のエントリーシート・観覧希望締切
※上記の他にも参加校と事務局とで連絡等は行う予定
- 10 問 合 せ 先 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校（事務局） 担当：鈴木 翠
電話（045）391－9141

令和5年度 神奈川県高校生福祉研究発表会出場校募集！

出場締切5月30日

◎福祉を学ぶ高校生は誰でも参加できます。

福祉を学ぶ高校生の学びあいと交流を目指す発表会です。

日時：令和5年7月22日(土)10:00～15:30(予定)

場所：二俣川看護福祉高等学校

神奈川県立よこはま看護専門学校

＜発表部門＞※各部門3人1組

- ①ベッドメイキング部門…5分以内でベッドメイキングを行います
- ②介護技術部門…課題に合った介護技術を考え発表します
- ③研究発表部門…課題から考えられる福祉の課題を見つけ研究を行います、発表します(形式は自由)

※②③は神奈川県大会で優勝すると関東地区大会に出場します。さらに優勝すると②は全国大会に出場します。昨年は神奈川県の代表が全国大会に出場しました！

参加希望生徒は、各学校の福祉担当の先生まで

※見学のみ参加もできます



神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会
課題別部会の設置について

1 設置目的等

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会（以下、「県老施協」という。）は、県内の老人福祉施設が直面する課題の状況把握や対応方法の検討を行うため、次の課題別部会（以下、「部会」という。）を設置する。

(1) 施設運営に関する部会

- ア 4ブロックにおける施設経営実態や運営上の課題について情報共有を行う。
- イ 情報共有をもとに、全県協働の課題や喫緊の課題に関する4ブロック共通項目での調査の実施や訴求活動の実施について検討や提案を行う。

(2) 人材確保等に関する部会

- ア 4ブロックの人材確保・育成状況等の実態を共有する。
- イ 4ブロックの人材確保・育成等に向けた対策・施策を共有する。
- ウ 個別の法人・施設単独では実施が難しい講演会や就職相談会など、施設連携のもと全県協働により推進可能な事業の検討や提案を行う。

(3) 災害対応に関する部会

- ア 4ブロックにおける行政との連携等の災害対応状況について情報を収集し共有する。
- イ 各施設単位での自助（BCP：事業継続計画、BCM：事業継続マネジメント）の取り組みを確立できるよう研修会の検討や提案を行う。
- ウ 自助の取り組みを確立した上で、共助による災害対応の在り方について検討する。

2 構成員

各部会には担当副会長を定め、4ブロックから推薦されたメンバーを構成する。なお、既定の人数を推薦することが難しい場合は最低1名を推薦するものとする。

会議名	推薦人数
施設運営に関する部会	2名
人材確保等に関する部会	2名
災害対応に関する部会	2名

3 リーダー

各会議に担当副会長とは別にリーダー1名を置き、会議を進行する。

4 招集

会議は担当副会長の求めに応じ、県老施協会長が招集する。

5 任期

老人福祉施設協議会委員（2年）に準ずるものとし、老人福祉施設協議会委員の改選と併せて各ブロックから推薦を行う。各ブロックからの推薦にあたっては、再任を妨げない。

大会運営・施設紹介・企業協賛係員派遣一覧

選出対象・人数		係	氏名	所属施設名	役職名
①	大会運営担当実行委員 所属施設から派遣 2名	大会運営 研究発表者受付 レーン1～3	広嶋 真結子	(社福) 照陽会 法人本部	局長
②		大会運営 研究発表者受付 レーン4・参加受付	高橋 美智代	特別養護老人ホーム 陽だまりの園	施設長
③	2名	施設紹介・企業協賛 誘導	本間 裕仁	特別養護老人ホーム 大師の里	相談員
④		施設紹介・企業協賛 誘導	茶園 恵美子	特別養護老人ホーム 多摩川の里	施設長

研究発表係員・審査員派遣一覧

選出対象・人数		係	氏名	所属施設名	役職名
①	施設長 1名	司会	吉野 英明	特別養護老人ホーム 金井原苑	苑長 (施設長)
②	施設長 1名	司会	白井 裕一	特別養護老人ホーム 富士見プラザ	施設長
③	PC操作のできる方 1名	機材係	大場 元太	介護老人福祉施設 すみよし	事務員
④	選出対象の指定なし 1名	会場係	早川 聰司	介護老人福祉施設 すえなが	相談員主査
⑤	施設長 1名	審査員 (施設長)	竹本 健寛	介護老人福祉施設 恒春園	施設長
⑥	主任クラスで5年以上 2名	審査員 (中堅職員)	尾崎 雅己	特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	相談員
⑦		審査員 (中堅職員)	中島 洋二郎	特別養護老人ホーム新緑の郷	施設長補佐

ミニセミナー「若手職員の声」発表者

選出対象・人数		係	氏名	所属施設名	役職名
①	2名 (経験年数概ね5年目位)	発表者	田村 耀	片平長寿の里	支援員
		発表者	杉村 奈月	片平長寿の里	支援員
②	2名 (経験年数概ね5年目位)	発表者	宇佐美 裕梨	潮見台みどりの丘	介護職員
		発表者	丸山 莉佳	潮見台みどりの丘	介護職員

No.	施設名	ブロック
1	柿生アルナ園	川崎
2	特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	川崎
3	特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	川崎
4	特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	川崎
5	川崎市老人福祉施設事業協会	川崎
6	社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設鷺ヶ峯	川崎
7	社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設鷺ヶ峯	川崎
8	社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設鷺ヶ峯	川崎
9	ケアハウスすえなが	川崎
10	ケアハウスすえなが	川崎
11	社会福祉法人セイワ 養護老人ホームすえなが	川崎
12	社会福祉法人セイワ 養護老人ホームすえなが	川崎
13	高津 山桜の森	川崎
14	高津 山桜の森	川崎
15	高津 山桜の森	川崎
16	高津 山桜の森	川崎
17	高津 山桜の森	川崎
18	特別養護老人ホームしゃんぐりら	川崎
19	特別養護老人ホームしゃんぐりら	川崎
20	特別養護老人ホーム虹の里	川崎
21	特別養護老人ホーム虹の里	川崎
22	特別養護老人ホーム虹の里	川崎
23	特別養護老人ホーム虹の里	川崎
24	特別養護老人ホーム南さいわい	川崎
25	特別養護老人ホーム南さいわい	川崎
26	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎

No.	施設名	ブロック
27	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
28	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
29	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
30	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
31	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
32	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
33	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
34	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
35	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
36	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
37	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
38	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
39	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
40	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
41	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
42	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
43	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
44	特別養護老人ホーム金井原苑	川崎
45	養護老人ホーム 川崎市恵楽園	川崎
46	養護老人ホーム 川崎市恵楽園	川崎
47	特別養護老人ホーム クロスハート幸・川崎	川崎
48	介護老人福祉施設すえなが	川崎
49	介護老人福祉施設すえなが	川崎
50	介護老人福祉施設すえなが	川崎
51	介護老人福祉施設すえなが	川崎
52	介護老人福祉施設すえなが	川崎

No.	施設名	ブロック
53	介護老人福祉施設すみよし	川崎
54	介護老人福祉施設すみよし	川崎
55	介護老人福祉施設すみよし	川崎
56	特別養護老人ホーム 新緑の郷	川崎
57	特別養護老人ホーム 新緑の郷	川崎
58	特別養護老人ホーム 新緑の郷	川崎
59	特別養護老人ホーム 新緑の郷	川崎
60	みんなと暮らす町	川崎
61	みんなと暮らす町	川崎
62	みんなと暮らす町	川崎
63	みんなと暮らす町	川崎
64	みんなと暮らす町	川崎
65	みんなと暮らす町	川崎
66	みんなと暮らす町	川崎
67	みんなと暮らす町	川崎
68	みんなと暮らす町	川崎
69	みんなと暮らす町	川崎
70	みんなと暮らす町	川崎
71	みんなと暮らす町	川崎
72	みんなと暮らす町	川崎
73	太陽の園	川崎
74	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
75	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
76	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
77	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
78	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎

No.	施設名	ブロック
79	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
80	特別養護老人ホーム レジデンシャル百合ヶ丘	川崎
81	特別養護老人ホーム 菅の里	川崎
82	特別養護老人ホーム 菅の里	川崎
83	特別養護老人ホーム 菅の里	川崎
84	特別養護老人ホーム 菅の里	川崎
85	特別養護老人ホーム 菅の里	川崎
86	特別養護老人ホーム 片平長寿の里	川崎
87	特別養護老人ホーム 片平長寿の里	川崎
88	介護老人福祉施設みやうち	川崎
89	介護老人福祉施設みやうち	川崎
90	介護老人福祉施設みやうち	川崎
91	介護老人福祉施設みやうち	川崎
92	富士見プラザ	川崎
93	富士見プラザ	川崎
94	富士見プラザ	川崎
95	介護老人福祉施設 大師の里	川崎
96	介護老人福祉施設 大師の里	川崎
97	介護老人福祉施設 大師の里	川崎
98	介護老人福祉施設 大師の里	川崎
99	介護老人福祉施設 大師の里	川崎
100	特別養護老人ホーム 桜寿園	川崎
101	特別養護老人ホーム 桜寿園	川崎
102	特別養護老人ホーム おだかの郷	川崎
103	特別養護老人ホーム おだかの郷	川崎
104	特別養護老人ホーム おだかの郷	川崎

No.	施設名	ブロック
105	特別養護老人ホーム等々力	川崎
106	特別養護老人ホーム等々力	川崎
107	特別養護老人ホーム等々力	川崎
108	特別養護老人ホーム等々力	川崎
109	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
110	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
111	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
112	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
113	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
114	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
115	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
116	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
117	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
118	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
119	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎
120	社会福祉法人 藤英会 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘	川崎

施設紹介コーナー参加施設一覧

1	やまゆりホーム
2	特別養護老人ホーム 菅田心愛の里
3	けやき荘
4	介護老人福祉施設 若竹苑
5	シーサイド かなざわ
6	介護老人福祉施設 わかたけ南
7	特別養護老人ホーム さわやか苑
8	特別養護老人ホーム 弥生苑
9	特別養護老人ホーム 峰の郷
10	特別養護老人ホーム 新横浜さわやか苑
11	第2新横浜パークサイドホーム
12	横浜市中田地域ケアプラザ
13	特別養護老人ホーム ワゲン新横浜
14	特別養護老人ホーム ひかり苑
15	介護老人福祉施設 わかたけ都筑
16	特別養護老人ホーム 和みの園
17	特別養護老人ホーム 松みどりホーム
18	特別養護老人ホーム 天王森の郷
19	特別養護老人ホーム 横浜敬寿園
20	泉の郷
21	富士見プラザ
22	太陽の園
23	陽だまりの園
24	みんなと暮らす町
25	特別養護老人ホーム 金井原苑
26	特別養護老人ホーム 潮見台みどりの丘

27	コスモスセンター
28	特別養護老人ホーム 相陽台ホーム
29	特別養護老人ホーム 東林間シニアクラブ
30	デイサービスセンター 芙蓉の園
31	太陽の家二番館
32	特別養護老人ホーム 太陽の家
33	特別養護老人ホーム サニーヒル横須賀
34	高齢者総合福祉センターヒューマン
35	特別養護老人ホーム シャローム
36	特別養護老人ホーム みどりの園
37	村岡ホーム
38	藤沢養護老人ホーム
39	特別養護老人ホーム 潤生園
40	陽光の園
41	特別養護老人ホーム ふれあいの麗寿
42	特別養護老人ホーム 湖
43	特別養護老人ホーム はだの松寿苑
44	高齢者総合支援センター泉心荘
45	中心荘第一老人ホーム
46	中心荘第二老人ホーム
47	えびな南養護老人ホーム
48	えびな南高齢者施設
49	えびな北高齢者施設
50	特別養護老人ホーム 和心
51	道志会老人ホーム
52	寒川ホーム

☆研究発表参加施設

会場 発表時間	施設名	テーマ
第1会場 13時～	特別養護老人ホーム しゃんぐりら	『苦しみ』と『やすらぎ』に向き合う 「痛み」のサインから学んだ看取り介護
第1会場 13時40分～	介護老人福祉施設 鷺ヶ峰	褥瘡の予防や改善に効果のある取り組み
第3会場 11時10分～	特別養護老人ホーム 潮見台みどりの丘	新聞紙の再利用について
第3会場 14時～	介護老人福祉施設 すみよし	何から始めれば良い？ICT ～施設での実践的ICT化とは～
第3会場 14時40分～	特別養護老人ホーム みんなと暮らす町	虐待防止について 利用者の尊厳を守るため
第4会場 14時20分～	特別養護老人ホーム 新緑の郷	楽 楽 入浴介助 ウルトラファインバブルで幸せいっぱい
第5会場 10時30分～	特別養護老人ホーム みんなと暮らす町	フレイル予防を意識した献立と食事提供
第5会場 14時40分～	特別養護老人ホーム 菅の里	8年ぶりの経口摂取からのアプローチ 新たな手法でQOLの向上を目指す
第6会場 13時～	特別養護老人ホーム みんなと暮らす町	障がい者雇用と仕事の切り出し 彼らがいないと困るんです
第7会場 13時40分～	かないばら苑 訪問看護ステーション	高齢者の腹膜透析「本人の想いを支える！」 治療と生活のバランスをとりQOLの向上

☆介護技術発表参加施設

発表時間	施設名	テーマ
10時40分～	特別養護老人ホーム 金井原苑	移動介護(トランスファー)

☆介護・高齢者福祉の「仕事」を知るミニセミナー

発表時間	施設名	テーマ
11時10分～	特別養護老人ホーム 片平長寿の里	「やりがい」「楽しさ」「大変さ」 本音で伝える介護の仕事！ －実際に働く若手職員の声－
14時10分～	特別養護老人ホーム 潮見台みどりの丘	「やりがい」「楽しさ」「大変さ」 本音で伝える介護の仕事！ －実際に働く若手職員の声－

第21回 かながわ高齢者福祉研究大会

新たな時代へ

今だから見つめる福祉のこころ

○日 時 令和5年7月5日(水)

9:50~16:00

○場 所 パシフィコ横浜

リハビリ・
レクリエーション

食事・栄養・
口腔ケア

ターミナル
ケア

居宅支援・
地域連携



人材育成・
外国人人材

認知症ケア

ICT・
介護ロボット

参加費用 会員 6,000円 非会員 8,000円(一般参加無料)

参加申込 令和5年4月14日(金) 受付開始

プログラム ●高齢者施設職員による ●研究発表 ●介護技術発表
●高齢者福祉施設紹介コーナー
●協賛企業出展コーナー

詳細は裏面をチェック!

○主 催 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
第21回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会

○共 催 一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会
社会福祉法人相模原市社会福祉協議会高齢者福祉施設部会

○後 援 神奈川県・横浜市健康福祉局・川崎市・相模原市

(予定) 公益社団法人神奈川県介護福祉士会・公益社団法人神奈川県社会福祉士会・

一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会・一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会・
公益社団法人神奈川県栄養士会・一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会

○協 力 神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会・神奈川県私立大学就職研究会・

(予定) かながわ福祉人材センター・ハローワーク横浜



大会ホームページ



Twitter

31

お問い合わせ先

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部 ☎045(534)5662

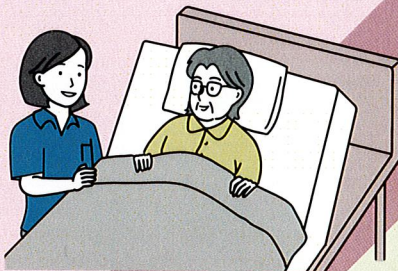
あなたの「知りたい!」がここにある

研究発表

発表題数 86題

他施設が取り組む日々の実践や研究成果を知りたい

神奈川県内の高齢者福祉施設職員等が、日々の実践や研究成果をプレゼン形式で発表する本大会のメインプログラムです。発表には新人職員から施設長まで、介護職員や看護師、栄養士、事務職員等、多様な立場や職種の方が参加します。



企業協賛出展

最新の介護用品や福祉機器を知りたい

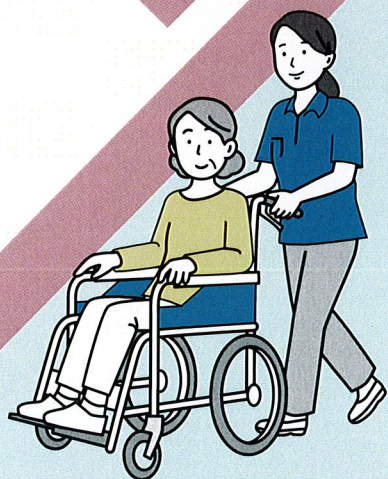
協賛企業による介護用品、福祉機器等の展示コーナーでは、最新の介護福祉関連用品の様々を直接手にとって試すことが出来るチャンスです。ブースによっては試供品の配布などもあります。



介護技術発表

現場職員が実践する介護技術や工夫を知りたい

2部門 7題
移動介護
個別ケア



高齢者福祉施設職員が日々実践する介護技術を自由に発表する、実技型プログラムです。お互いに刺激し合うことで技術の向上を図り、自らの介護の再発見の場になることを目的としています。発表と併せて、有識者による講評も行います。



高齢者福祉施設紹介コーナー

社会福祉法人・高齢者施設がどんなところか知りたい

【高齢者福祉施設紹介コーナー】

介護業界や介護・高齢者福祉の仕事を知るミニセミナーを開催します。県内施設の紹介コーナーもありますので、この機会にぜひお気軽にご参加ください。

開催要綱・参加申込みは
大会ホームページから



または **かながわ高齢大会** で検索!

Twitter
はじめました!



最新情報をチェック

介護の「仕事」を「知る」

第21回かながわ高齢者福祉研究大会 高齢者福祉施設紹介コーナー

就活・実習前に知っておきたい、今更聞けない、そんな介護・高齢者福祉の「仕事」を知るミニセミナーを開催します。

情報収集に役立つ、県内高齢者福祉施設の紹介ブースもあります！

対象
学生

年齢・経験・専攻・
学部・学年不問

社会福祉法人・高齢者福祉施設の基礎知識



若手職員が語る高齢者福祉施設での仕事

高齢者福祉施設での働き方や就職活動



詳細は裏面へ

参加費無料
入退場自由

私服参加
当日参加
OK!

介護の仕事に興味はあるけど、よく知らない。まずはどんな仕事か聞いてみたいな。



参加申込

お申込みはこちら⇒



日時

令和5年7月5日(水)
9:50~16:00

場所

パシフィコ横浜会議センター

主催・問合せ先

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会
第21回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
TEL 045-534-5662

WHAT'S

かながわ高齢者福祉研究大会

高齢者福祉施設職員等による研究・実践活動の発表の場、介護現場の最前線を発信することを目的として開催しています。

大会当日は施設職員による「研究発表」「介護技術発表」もご覧いただけます。詳しくは、大会HPへ。



介護・高齢者福祉の「仕事」を知るミニセミナー イ ム テ ー ブ

時間	知っておきたい！ 介護の職場の基礎知識 —社会福祉法人・高齢者福祉施設について—		「やりがい」「楽しさ」「大変さ」 本音で伝える介護の仕事！ —高齢者福祉施設での働き方や就職活動・ 実際に働く若手職員の声—	
	所要時間 30分		所要時間 60分	
9：30 受付開始				
10：00	1回目	10：00～10：30	1回目	10：00～11：00
11：00	2回目	11：10～11：40	2回目	11：10～12：10
12：00	3回目	12：20～12：50		
13：00	4回目	13：20～13：50	3回目	13：00～14：00
14：00			4回目	14：10～15：10
15：00				
16：00 大会終了				

◆こんなことをお話しします！

- ▽社会福祉法人って民間企業と何が違うの？
- ▽施設運営だけじゃない、地域で、地域と、取り組むこと
- ▽高齢者福祉施設って何？
- ▽高齢者福祉施設を利用する人ってどんな人？
- ▽高齢者福祉施設職員のキャリアパス

両方聞くとよくわかる！



◆キャリア支援専門員がこんなことをお話しします！（20分）

- ▽高齢者福祉施設・介護の仕事▽働くために資格はいるの？
- ▽経験がなくても働ける？▽職場探しのポイント
- ▽求人票の見方、ここがポイント

◆実際に働く若手職員がこんなことをお話しします！（20分×2名）

- ▽今の仕事を選んだ理由・きっかけ▽仕事の内容・1日の流れ・働き方
- ▽仕事の魅力、大変なところ、やりがい
- ▽今後の目標・これから介護の仕事を目指す人へ

神奈川県内の高齢者福祉施設の紹介ブースで
施設ごとの特徴も知れる！施設パンフレットの配布あり！

お申込みはこちら⇒



第21回かながわ高齢者福祉研究大会 高齢者福祉施設紹介コーナー

介護・高齢者福祉の「仕事」を知るミニセミナー 知っておきたい！介護の職場の基礎知識

令和5年7月5日(水)

場所：パシフィコ横浜 4F416・417号室



学生の皆様こんにちは。神奈川県社会福祉法人経営青年会です。
私たちは、社会福祉事業団体に所属する満50歳未満の理事長、施設長の集まりです。

これから就活、実習に取り組む皆様、少しでも高齢者福祉にご興味のある方、これまでご興味のなかった方も、是非ミニセミナーへお越しください。

社会福祉法人て何？民間企業と何が違うの？高齢者福祉施設って何？どんなことにもお答えします！

1回目
10:00～10:30

社会福祉法人 敬寿会
特別養護老人ホーム
相模原敬寿園
事務長 五十嵐 大輔 他
『特養って何？
～施設にまつわるエトセトラ～』



2回目
11:10～11:40

社会福祉法人 一燈会
理事長 山室 淳
『社会を支える。未来を変える。
社会福祉法人の魅力』

3回目
12:20～12:50

社会福祉法人 照陽会
特別養護老人ホーム
みんなと暮らす町
施設長 広嶋 稔之
『特養って何？
～そこで躍動する
職種(国家資格)の役割～』

4回目
13:20～13:50

社会福祉法人 蓬萊会
特別養護老人ホーム
ケアプラザさがみはら
施設長 大塚 小百合
『人生の最期に寄り添う仕事』



かながわ高齢者福祉研究大会の見直しについて
(これまでの経過・見直しの方向性)

大会開催の背景

神奈川県内の高齢者福祉・介護分野の発展とサービスの質向上を目的に開催。

- ・ 成果を発表する機会の創設
- ・ 高齢者福祉、介護分野に科学的な根拠の構築
- ・ 施設同士で互いの研究成果を公開する
- ・ 高齢者福祉を担う人材の確保・育成・定着

第1回

平成14年度

1月23日開催

開会式・シンポジウム＋実践発表

第2回

平成15年度

7月22日開催

形式的な開会式の廃止

県介護協との連携、専門学校生等の聴講 学生参加費の無料
学生の参加しやすい時期として、開催時期を7月に変更
協賛企業出展の開始

第3回

平成16年度

7月8日開催

施設等紹介・就職相談コーナーの開始

第10回

平成23年度

7月5日開催

介護技術発表の開始

第10回の節目に、実践・実技型の新しいプログラムを導入
日ごろ実践している介護を会場で披露し、お互いに刺激し
合うことで介護技術の向上を図り、自らの介護の再発見の
場になることを目的（優秀賞の表彰）

第18回

令和元年度

7月2日開催

就職相談コーナーの在り方を見直し、県内の方々へ身近に
ある社会福祉法人をより知っていただけるような展示ブー
ス中心のプログラムに変更（学生の参加しやすさを考慮）

第19回

令和3年度

6月30日～7月31日配信

関ブロ老人福祉施設研究総会との合同大会

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催
介護技術発表については、発表内容の性質上、競い合うもの
とせず、評価者による講評のみとした

第21回

令和5年度

7月5日開催予定

大会プログラムの見直しも見据えつつ、4年ぶりに開催

施設紹介コーナーを介護の仕事を知る機会の提供の場として
位置づけ、プログラムを見直し

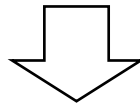
外国人人材に関する企画の実施

開催当初の目的・目標（高齢者福祉・介護分野の発展とサービスの質向上）に加え、

学生・求職者向けのプログラムや、一般の方々へ向けた発信の場としての活用など、大会ごとに見直しを
行いながら取り組んできた

課題として挙げられている意見

- ・ 研究発表者、介護技術発表者として参加する施設が固定化されてきている
- ・ 介護協加盟校の減少や養成学科の廃止に伴い、学生の参加者数が減少傾向にある
- ・ 広く一般へ高齢者福祉施設や施設での取り組みについて発信するなかでは、プログラム上施設関係者以外が参加しにくくなっている
- ・ 大会開催が恒例行事となり、参加への意識が義務化している
- ・ 現場の人材不足の影響もあり、多数の職員を参加させることが難しくなっている
- ・ 実行委員の推薦、係員の派遣等についても、必要人数を選出することが難しくなり、派遣する施設の負担感が大きくなっている



見直しの方向性（案）

- ①開催当初の目的、目標に立ち返り、今後の県内の高齢者福祉の発展に必要な要素を再確認する
- ②開催当初を知る人が少なくなる中で、あらためて開催の目的、目標の共有を行いながら、新たなかたちを考えていく
- ③開催の目的、目標を踏まえたうえで、県内高齢者福祉施設関係者が自分たちで運営ができる、参加しやすい大会のあり方や進め方を検討する

かながわ高齢者福祉研究大会の見直しについて（検討方法）

（案1）第22回大会の準備を行いつつ、並行して今後の検討を行う方法

	R5.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
第22回 大会準備	第21回大会開催 実行委員会（振り返り） 第22回実行委員の推薦依頼 会場予約（パシフィコ横浜） 第22回実行委員会（第1回） 第22回実行委員会（第2回） 第22回研究発表・介護技術発表の募集開始												
今後の検討	<div> <div> 今後の検討メンバーの推薦依頼 検討メンバーによる会議（第1回） 検討メンバーによる会議（第2回） 検討メンバーによる会議（第3回） </div> <div> 大会の準備をしながらの合意形成は、その場面設定や丁寧な議論が困難。 </div> <div> 平行して行うことによりメンバー選出が難しく、少人数での検討となる。 </div> <div> 今後について（提案書作成） 各所で検討の上、修正・合意へ </div> </div>												

（案2）第22回大会の準備は行わず、今後の検討を行う方法

今後の検討	第21回大会開催 実行委員会（振り返り） 今後の検討メンバーの推薦依頼 検討メンバーによる会議（第1回） 検討メンバーによる会議（第2回） 検討メンバーによる会議（第3回） 令和6年度は大会開催をせず、これまでの開催経過をきちんと振り返り、今後の未来に向けての大会の在り方を丁寧に議論・整理する。 今後について（提案書作成） 各所で検討の上、修正・合意へ												
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

障害者福祉施設協議会 施設長会でのミニ講座について

施設長会に参加する会員施設にとって、施設長会がより有意義な時間になるようアンケート結果に基づき、社協関係のテーマをはじめとしたミニ講座を行う。
(令和3年度より実施)

【令和3年度】

第1回	川崎市成年後見支援センターについて
第2回	「社会福祉法人・施設による地域貢献支援事業について」 (地域生活支援 SOS かわさき事業)
第3回	「コロナ禍での社協の取組みについて」 (特例貸付(生活福祉資金貸付制度)含む)

【令和4年度】

第1回	「大都市社会福祉施設協議会(川崎市大会)について」 (“障害関係施設・事業所における虐待防止についての組織づくり”) 講師 和泉短期大学 教授 鈴木敏彦 氏 ※動画配信あり
第2回	社会福祉協議会 (川崎市社協・各区社協・各地区社協)
第3回	オンラインによる知的障害疑似体験 (川崎市育成会手をむすぶ親の会)
第4回	災害ボランティアセンター

※「民生委員児童委員」

(保育協議会で「民生委員児童委員」をテーマにしたミニ講座を行う予定のため、後日視聴可能)

【令和5年度】

第1回	終活事業(川崎市未来あんしんサポート事業)について
第2回	(案) 老人福祉施設協議会(高齢者施設等)との連携
第3回	
第4回	

※第2回施設長会 7月13日(木) 10時~12時

ミニ講座は協議事項終了予定の11時30分頃から30分程度

・老人福祉施設協議会(高齢者施設等)との連携

先日、和泉短期大学の鈴木先生の講義の中でも「施設内の安全対策(事故防止のための指針や施設内の委員会設置や研修会実施)虐待防止」については、老人福祉施設の方が先進的に取り組まれている部分もあるというお話があった。どこかの施設に取組み状況等をミニ講座の中でお話いただきたい。